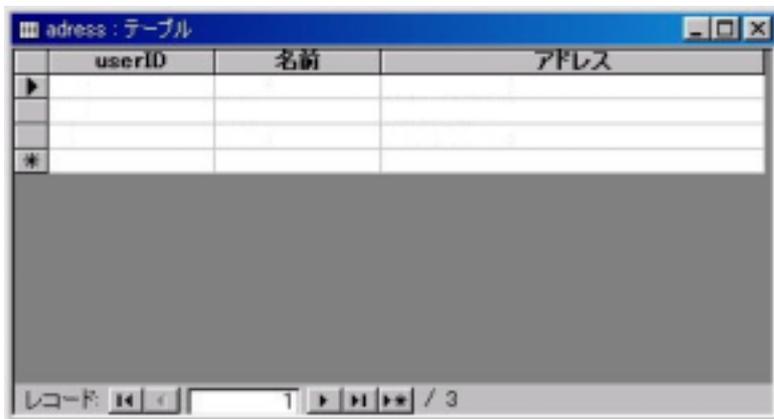


テーマ	Access のデータをブラウザから操作しよう				
概要	ODBC を利用した ASP によるデータ操作				
ねらい	ネットワークにおけるデータベース活用を理解させる。				
関連する主な 科目・項目	情報B 情報の蓄積・管理とデータベースの活用	難易度	易	想定 時間数	約1時間
準備するもの		作成者	矢野 裕一郎		

1 学習の展開

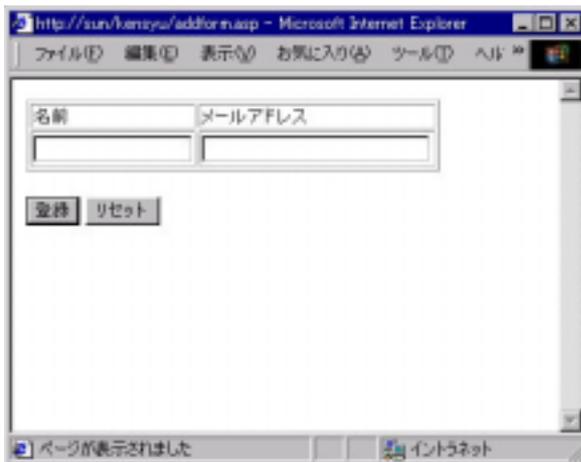
1. Access で作成したアドレス帳のテーブルを見せ、フィールドについて説明します。また、データが空であることを示します。



2. 各自ブラウザを起動します。ログオン画面にアクセスし、ユーザーIDとパスワードを入力しログオンします。



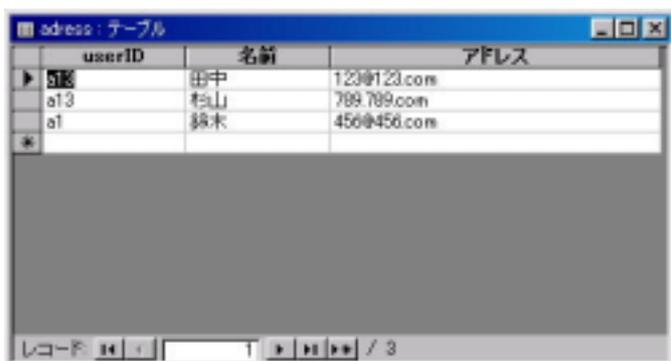
3. アドレスの追加をさせます。



4. アドレスの一覧を表示させ、入力したアドレスが表示されているか確認させます。



5. もう一度テーブルを見せ、各自が追加したアドレスが保存されていることを確認します。



6. Access で作成したテーブルのデータがブラウザ上で操作できることを確認します。

7. ASP や SQL について簡単に触れ、今回の実習の原理を説明します。

2 準備

ASP を利用するには Web サーバに IIS(Internet Information server)を使用するか、それ以外の Web サーバに FrontPage Extension をインストール必要がある。

ODBC の設定も必要である。